

素晴らしい運動会

チューリッヒ日本人学校
学校便り

希望



2018年6月15日(金)
第9号
発行 校長 東 明 彦

の役割を果たし、最後まであきらめないで力を出し切って、最後は笑顔で終わることができていました。

私からは、開会式の挨拶で「最後まであきらめないで自分と戦ってください」とお願いした通り、最後まで全力で真剣に走り・演技をしていたように感じました。結果としては、今年は白組が勝利しましたが、本当に僅差で、大玉運びの結果次第では逆転していた可能性もあります。それだけ、一人ひとりが自分たちの組のために、全力で戦った、また自分自身とも戦ったことのおかげだと思います。

自由で伸びやかな雰囲気を持ちながら、やるべき時にはきちんと行動する、そんなメリハリがあった運動会でした。チームとして動くこと、協調性、周到な準備、自分から進んで協力しようとする態度、その他、たくさんの日本人学校のよさが存分に発揮された運動会だったと誇らしく思っています。児童生徒たち一人一人は、それぞれによかったこと、これまでより成長できたこと、反省しなければならないことを自覚し、理解していると思います。教職員も、今回の運動会については冷静にふり返り、次の活動に活かしていくとともに、児童生徒たち一人一人、それぞれの成長に繋げることができるように支援をしていきたいと思っています。

保護者の皆様のおかげとご支援とご理解に、改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

6月9日(土)、晴天のもとで第31回チューリッヒ日本人学校全日制・日本語補習校の運動会が行われました。早朝から、児童生徒はもとより、保護者の皆様、運動会ボランティアの皆様にお手伝いいただきながら、スムーズにテントや用具の準備などを終えることができました。

予定通り、9時30分には開会式を始めました。児童生徒の代表としてまず登場したのが、中学部の2人です。Aさん、B君による選手宣誓、2人で声を合わせるところと別々に宣誓するところを作り、それぞれ赤白の組の代表であることを印象づける素晴らしい宣誓をしてくださいました。

バッジデザインについての感想や、準備運動のリードなど児童生徒が主導する形でプログラムが進行していきます。どの競技・演技についても、一人ひとりがきちんと自分の



中学部は期末テストです！漢検も迫る！

6月の学校全体の生活目標は、「落ち着いた学習時間をつくろう。」です。どの学年も積極的に学習に取り組んでいます。中学部はその学習の習熟度を見るために、来週から期末テストに入ります。全教科のテストがあります。中学部3年生は、それぞれ自分の進路をめざして、毎日ものすごい集中力で学習をしています。前回も少し書きましたが、「木曜日を乗り切ろう！」を合言葉に、1時間1時間をしっかりと集中して学習しているので、大変に疲れるのだらうと思います。

家庭で自主学習をするときや本を読むときもそうですが、少し身体を動かしたり、活字ではなく絵画やカラフルなデザインを鑑賞したり、音楽を聞いたりしながら、身体や感覚を活性化させていくと、またリフレッシュできるようです。歩きながら音読をするといった学習方法を推奨している研究者もいます。自分なりにいろいろと工夫をして、短時間で集中し、知識を覚えるだけではなく、知識を使って思考し、自分の考えや感想を表現する学習に取り組んでほしいものです。

《裏面に続く》

中学部3年生たちは、この1学期の成績が進路を決めていくうえでも大切になってきます。公立高等学校だけでなく、私立の高等学校も内申書や中学生としての自主的な活動、ボランティア活動、生徒会活動等、中学校でどのような活動をしてきたのか、という観点を重視する学校もあります。できる限りの準備をして、来週からの期末テストに備えほしいと思います。

また、小学部でも、単元のまとめのテストや小テストが多くなってくる時期だと思えます。1学期の学習のまとめとして、自分で書いたノートや教科書をもう一度見直して、授業で学んだことを思い出して、復習することはとても効果的です。6月17日(日)には漢字検定もあります。その機会を活用して、基本的な知識を覚えることも大切ですが、それ以上に「自分の学び方」を身につけてほしいと願っています。

2018年度 在外教育施設「巡回相談会」について

海外子女教育振興財団の「教育相談事業チーム」から、以下のような内容で「巡回教育相談」を実施する予定であるとの案内が届きました。もし、個別に相談したい内容等があれば、学校としての要望をまとめて申請を出そうと思えますので、まずはお知らせいたします。ヒアリングシートの**提出期限は7月6日です**。

- ◆実施時期：9月から11月にかけての期間で予定
- ◆内 容：・在校児童生徒・保護者への、帰国についての個別の教育相談（進学の内容も含む）
・学校教員との懇談会
- ◆対 象：・海外に滞在している小中学校・高等学校段階の児童生徒とその保護者
・教職員
- ◆開催地域：1地域の3～4都市で開催予定
※昨年度は、ポーランド・ルーマニア・ドイツ・イタリア等で実施。
- ◆担 当 者：海外子女教育振興財団の教育相談員2名で対応する予定
- ◆そ の 他：全体の講話（50分）の後に、個別の相談を受ける。1組15分～30分を予定。
個別相談では個々の事情にそった情報提供等を行う。

以上のような内容の案内でした。個別懇談会の時にも、各学級担任から要望等について、お伺いをいたしますが、是非このような相談会で情報を得たい、というご希望があれば学校までご連絡ください。

まずは、学校からのヒアリングシートを提出する必要がありますので、保護者の皆様のご要望、教職員の意見等を踏まえて、希望がある場合は「希望あり」のヒアリングシートを提出して、細かい内容を詰めていくことになります。ただ、希望しても他の開催予定や希望人数の状況によっては、選考から漏れる可能性もありますので、その点をご理解ください。先ずはお知らせをいたします。

俳句を学習します

サマーキャンプに合せて、全校児童生徒を対象に「俳句を創ってみよう」という特別授業を予定しています。国語の授業でも俳句は扱います。小学校3年生から俳句の学習が始まり、5年生、中学3年生と、それぞれの発達段階にあった内容を学習します。

俳句は日本の文学の1つの領域で、今も多くのの人たちによって愛されている季節の文学です。せつかくのサマーキャンプです。スイスの素晴らしい風景や山の高さ、街や人たちに会える機会です。その時に感じた、自分だけの心のスケッチを、五・七・五の音数で表現してみよう、と呼びかけてみたいと思えます。

できた作品は、校内での掲示はもちろん、各種のコンクールにも出そうと考えています。

本の紹介 お願いします

母語の形成には、読書は必須の学習活動だと言われます。この時期には、夏休みを前にした、読書案内がどの学年の国語の教科書にも出ています。夏休みを活用して、自分の好きな本を深く読み、読書感想文を書こうという内容です。本校でも読書は大切な学習活動として推奨していきます。今後、教職員が「読んでよかったと思う本」を紹介していきたいと考えています。保護者の皆様にも、「この本は是非とも読んでほしい」という本があれば、紹介をお願いいたします。書名・著者名を中心に、短いコメントをつけていただければありがたいです。次の学校便りから紹介をはじめていく予定です。ご協力をよろしくお願いします。